

化学物質等安全データシート (MSDS)

MATERIALSAFETYDATASHEET 【混合物用(塗料用)】

整理番号No. 108-74160

(1/5)

1. 化学物質及び会社情報

製品名 メタリー特本金色1号H
種類 2液型アクリルウレタン樹脂塗料
主な用途 金属製品用・汎用製品用

製造者名 堀金箔粉株式会社
住所 京都市中京区御池通り御幸町東入る大文字町356
担当部門 総務部
担当者 村田 孝明
連絡先 総務部
電話番号 (075) 231-5357
FAX番号 (075) 211-5357

2. 組成、成分情報

化学物質の特定 : 混合物 毒物・劇物法該当 : 該当せず
危険有害性成分

成分名	CAS. No	含有量 (重量%)	PRTR対象	備考
トルエン	108-88-3	25	1種227	
酢酸ブチル	123-86-4	17~25		
酢酸エチル	141-78-6	1~5		

3. 危険有害性の要約

危険有害性分類 ☆引火性液体、急性毒性物質
最重要危険有害性及び影響
健康影響 ☆有機溶剤中毒を起こす恐れがある。
危険性 ☆非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると、爆発の恐れがある。
環境影響 ☆環境に排出されると影響を与える恐れがある。
特定の危険有害性 ☆特に情報を有していない。

4. 応急処置

吸入した場合 ☆蒸気、ガスを多量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則、止まっている場合には、人工呼吸を行なう。
嘔吐物は飲み込まないようにする。
直ちに医師の手当てを受けること。

4. 応急処置

吸入した場合	☆蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合	☆付着物を布にて素早く拭き取る。 ☆多量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは、使用しないこと。 ☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受けること。
目に入った場合	☆直ちに多量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。出来るだけ早く医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	☆誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないこと。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

使用可能消火剤	☆炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂等
使用不適消火剤	☆水(火源に対して、直接水を掛けない。)
消火方法	☆水を消火に用いてはならない。 ☆可燃性のものを周囲から素早く取り除く。 ☆指定の消火剤を使用すること。 ☆消火活動は、風上から行なう。
特定の消火方法 着用の保護具	☆高温にさらされている密閉容器は、水をかけて冷却する。 ☆適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。 ☆火災時に発生する有毒ガスの吸入を避けるため、防毒マスクを着用する。 ☆その他消火活動を行い易い着衣を着けること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	☆作業の際には、適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
環境に対する注意事項	☆多量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。
除去方法	
回収	☆漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 ☆衝撃、静電気にて火災が発生しないような材質の用具を用いて回収する。 ☆乾燥砂、土、その他不燃性のものに吸収させて回収する。
廃棄 中和	☆付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処理をすること。 ☆特に情報を有していない。
二次災害の防止策	☆付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。 ☆着火した場合に備えて、適切な消化器を準備する。 ☆風下では作業しない。

7. 取扱及び保管上の注意

取扱い上の注意	☆換気の良い場所で取り扱う。 ☆容器はその都度密閉する。 ☆周囲で、火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 ☆静電気対策のため、装置などは接地し、電気機器類は防爆型(安全増)を使用する。 ☆工具は、火花防止型のものを使用する。 ☆作業中は、帯電防止型のものを使用する。 ☆使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は、廃棄まで水に漬けておくこと ☆密閉された場所における作業には、十分な局所廃棄装置をつけ、適切な保護具付けて作業すること。
---------	---